Rest API PUTを実装する ～ @PutMapping

商品情報を更新する場合は、HTTP PUTを利用した、更新対象のIDを特定するAPIを作成します。Body部にjsonデータを設定してデータを送信します。Controllerクラスには、@PutMappingアノテーションでAPIのURLを設定します。また、@RequestBodyアノテーションでjson形式で受け取り、@PathVariableアノテーションで指定された更新キーを取得します。

PUT: 商品情報を更新
http://localhost:8080/items/10001

Request Body (json形式で設定)

```
{
"itemId":"10001",
"itemName":"サファイアリング",
"itemCategory":"ジュエリ"
}
```

Controllerクラス

```
36
37    @PutMapping("/items/{itemId}")
38    public void updateItem(@RequestBody Item item,
39            @PathVariable("itemId") String itemId) {
40        itemService.updateItem(itemId, item);
41    }
42 }
43
```

【@PutMapping】

- ✓ HTTP PUTリクエスト用のアノテーション
- ✓ value属性 (省略可)にURLを指定

実機演習の流れ

■前回の演習で作成したRest APIを拡張します。以下①~④の手順で演習を行います。

① サービスに商品更新処理を追加
② RestControllerクラスに商品更新Rest API (PUT)を追加
③ Clientからデータを更新
④ 更新された事をRest API GETを利用して確認